

# コミュニティ・スクールだより

(令和2年度)  
第5号

発行／国府小学校学校運営協議会

早いものですぐそこに旅立ちと出会いの季節がやってきています。コロナに翻弄され我慢の一年でしたが、子どもたちは新しい挑戦や気づきなど、今年ならではの大切なものを見つけたのではないのでしょうか。もうしばらく気を緩めずに過ごしていきましょう

さて、今号では2月26日(金)に開催された本年度最後の学校運営協議会の内容と、学校運営協議会委員の皆さんから寄せられた思いを紹介します。

## ◆学校関係者評価について

学校運営協議会の大きな役割が6つの項目で構成された「学校関係者評価」。学校から具体的な活動等が提案され、委員は様々な立場から意見を出し合いました。(意見の一部を紹介します)

### ①学力向上

- ・めあて、まとめ、振り返りを一年から意識づけることは有意義
- ・他の授業を参観し、スキルアップにつなげる「ぐるぐるウィーク」の取組は良い
- ・高学年の算数少人数授業は来年度も続けてほしい

### ②生徒指導

- ・あいさつ運動の必要性を伝えてほしい
- ・いじめトラブルはゼロにはならないので、早期発見と指導が必要

### ③教職員の業務改善・育成

- ・気兼ねなく休暇が取れる雰囲気づくりを
- ・持ち帰りの仕事が多くては意味がないので、校長 教頭が見守ってほしい
- ・時間を気にして、討議が甘くならないように

### ④地域との連携

- ・授業参観が少なく子どもの様子が分からなかったので、HPに載せていただくと良い
- ・PTA 広報誌も自治会回覧できれば知ってもらえる
- ・学力の底上げには学習支援ボランティアが不可欠

### ⑤外国人児童生徒教育

- ・外国籍児童が増加する中、国や性別ではなく個人として人を見る大切さを伝えて
- ・日本語が苦手な児童は取出し授業が必要

### 《⑥人権教育》

- ・道徳や学活でコロナから、いじめ等について学べたことは、人権を学ぶ良い機会
- ・「ほめほめタイム」は子どもにはむずかしいが続けて、学校全体をポジティブに



例年以上にたくさんの具体的な意見が出され、学校がこれらの意見をどのように受け止めて、今後反映させていくのか、楽しみです。

**地域住民や保護者の代表が意見を言える「学校運営協議会」と「学校支援ボランティア」が両輪となって、地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)を推進しています。**

## 委員の皆さんからの感想

春を待つ人々の気持ちが今年は例年になく強いのではないかと感じています。春になればワクチンの接種が始まる。元の生活に近づけると希望が叶う日が見えてきたことを共に喜び共に今しばらく待ちたいと思います。子どもたちにとっても大変な一年でした。休校になって多くの行事が中止や縮小を余儀なくされましたが、子どもたちはとても明るく元気です。

来年度も学校運営協議会に変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。 **会長代理(地域コーディネーター) 岸 俊子**

学校の教育目標を地域住民が理解し、協力を惜しまない環境づくりをするのは、学校運営協議会の役割の一つと思っています。私は立場上児童が安全に登下校するために、通学路の整備や朝のパトロール等に取り組みましたが、「おはよう」「こんにちは」等の挨拶で子どもたちは、自分たちが地域に見守られ、支えられていると実感していると思います。今後も「地域と協働して子どもたちを育む」「地域と共にある学校」に微力ながら尽くしていきたいと思っています。

**上区自治会長 打田 誠**

子どもを授かり、小さい手の掛かる時期はほとんど家内に任せてきた私に、学校運営協議会委員の話がきました。何も分からないが少しぐらいはお役に立てるんじゃないかとお引き受けしましたが、難しいことばかり。

学校運営って各先生方、親御さん、各地域の皆様との暖かい気配り、見守りによって安全安心に運営されているんだと気づかされました。各先生方、各地域の皆様方、これからもよろしくお願ひいたします。

**学校支援ボランティア 伊藤 光春**

学習ボランティアで算数の授業に関わるようになって、10年くらいになります。大人になって思ったこと、「学校の勉強ってこんなにおもしろかったんだ」「授業って楽しかったんだ」子どもものときには分からなかったけれども、もっと勉強しておくんだなあと感じています。

子どもたちには勉強でもスポーツでも色々なことにチャレンジしてほしいです。

**民生・児童委員 鈴木 朋世**

「学校運営協議会」見るからに堅苦しくて難しそうですね。しかし、実際は柔軟で穏やかな場でした。話し合う内容も様々で、目指しているのは、学校を居心地の良い場にすることです。そのためには、児童のみなさん、保護者のみなさん、地域のみなさんの小さな気づきを知ることが大切になってきます。

これからもみなさんの小さな気づきをいつでも教えてください。よろしくお願いします。

**PTA副会長 牧野 美貴子**

打田誠さんと松本久美さんが任期を終えて交代します。貴重なご意見ありがとうございました。

まちづくり協議会の代表として、参加させていただいて4年目になります。協議会に参加することで、以前から学校と地域の連携を強く意識しながら、実は学校現場の現状を理解できずにいたことに気づかされました。子どもたちは毎日一生懸命前進しようとしています。そんな子どもたちのために地域の皆様と共に、少しでも彼らを支え、見守れる安全で安心できるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

**国府地区まちづくり協議会会長  
中島 幸雄**

保護者、学校関係者、地域が連携し、子どもたちへの教育支援や農業体験など、様々な活動に取り組んでおり、携わっている方々に感謝、感謝です。

田舎の小さな小学校ですが、地域の皆さんの一人ひとりの「子どもたちを守り育てたい」「地域をもっとよくしたい」の気持ちが大きな力となり、より良い「まちづくり」をつくる原動力に繋がってほしいです。

**学校体育施設開放委員会 橋本 研一**

昨年度から2年間、学校運営協議会に参加させていただきました。会では、先生方や地域の方、保護者の思いを共有することができ、とても有意義で充実した時間を過ごせました。また、学校・地域・家庭の連携と協働により子どもたちを育てることがとても大切であることを知り、PTAの在り方についても考えさせられました。

2年間でたくさんの勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

**PTA会長 松本 久美**

5年生がかぎ針編みでアクリルたわし作りに挑戦。6年生は手縫いとミシン縫いのぞうきんを作り、在校生に残します。21人のボランティアさん、ありがとうございました。



学校運営協議会は、学校・保護者・地域社会が連携して地域の子どもたちを守り育てようとするしくみです。ご意見やご提案などなんでも結構です。お気軽にご連絡ください。

**国府小学校 378-0538**

